

赤十字防災セミナー「短期講習」一覧

No.	短期講習名	内容	標準時間数	準備物	教材費等
B1	災害への備え (講義形式)	防災や減災の考え方、地震・津波・風水害がもたらす様々な被害から、平時の備えの重要性を理解する。感染症から身を守るなど。	60分～	プロジェクター スクリーン	「災害への備え」 (支部印刷対応)
B2	災害エスノグラフィー (グループワーク含む)	被災した人々の視点で書き留められた読み物から、被害を追体験し、被災状況をイメージする。	60分～	プロジェクター スクリーン	
B3	災害図上訓練(DIG) (グループワーク含む)	地域の防災マップの作成を通じ、防災上の資源や危険性を把握し、個人や地域の防災意識を高める。	120分～	ホワイトボード プロジェクター スクリーン	
B4	家具安全対策ゲーム(KAG) (ペアワーク含む)	自宅(部屋)の平面図を描くゲームを通じて、地震で起こる被害や家具の安全対策の必要性を把握・理解し、身の安全を守る方法について行うべきことを検討する。	30分～	プロジェクター スクリーン	
B5	ひなんじょ たいけん (グループワーク含む)	大地震における避難所生活の一部をイメージした「避難所をつくるカードゲーム」を通じて、避難所での「避難者の目線で心がける事柄」を理解する。	90分～	プロジェクター スクリーン	
B6	応急手当 (救急法のFA1～FA5を中心とした内容です。B1～B5と組み合わせることで実施します。)	身近なものを用いた応急手当をはじめ、一次救命処置(心肺蘇生、AEDを用いた電気ショック等)を学ぶ。	120分～	救急法FA1～FA5に準ずる ※救急法以外の短期講習との組み合わせをご希望の場合は講習係にご相談ください。	

*原則として、受講者10名以上で実施してください。

*指導者の派遣人数は受講者数と内容によって決定します。(B1:1名、B2及びB3:2名以上)

*教材費はプログラム内容に応じて負担をお願いします。

*指導者派遣料(1人1日@5,000円以上、4時間未満)及び必要な資材の搬送経費等は、申請者の負担となりますのでご了承ください。(地区区分主管で、対象者が赤十字地区区分職員、赤十字奉仕団員、青少年赤十字加盟校等は免除となります。)

*講義・グループワークができる会場が必要です。

○防災セミナー 活用例

地域コミュニティ(自治会・老人クラブ・民生委員等)、地域の防災訓練、学校の授業での講演等にご活用ください。

- ・地域での会議等の後に、赤十字防災セミナーを組み合わせるも可能です。
- ・「災害への備え」(講義)+「災害図上訓練(DIG)」(グループワーク等)で組み合わせる。
- ・「災害への備え」(講義)+「災害エスノグラフィー」(グループワーク等)で組み合わせる。
- ・「災害図上訓練(DIG)」又は「災害エスノグラフィー」を単独で実施する。

※組み合わせや実施時間等については救護課講習係にご相談ください。